

◇大学院 経済情報研究科 主要科目の特長

科目	特長
税務会計研究 A	<p>法人税法の基礎概念と利益計算の基礎を習得する。特に、企業会計上の利益と法人税法上の所得の違いを確認し、企業会計上の利益から法人税法上の課税所得を導く過程を中心に学習する。</p>
税務会計研究 B	<p>税務会計研究 A に続き、法人税法の基礎概念と利益計算の基礎を習得する。特に、企業会計上の利益と法人税法上の所得の違いを確認し、企業会計上の利益から法人税法上の課税所得を導く過程の重要な概念を中心に学習する。</p>
情報処理研究 A	<p>地域の課題解決において、データに基づいたエビデンス(根拠)が求められています。この授業では、「地方創生」に向けた地域のデータ分析の考え方と手法を学びます。具体的には、今後活用が期待される「統計オープンデータ」を取り上げ、その入手方法、分析事例を具体例を用いて学びます。</p>
情報処理研究 B	<p>人工知能は、人間のように考えるコンピュータの実現を目指しますが、それに対して拡張知能という考え方があります。人間の知能をコンピュータによって補強することを試みます。この授業は、その一環として、コンピュータを使って人間のコミュニケーション力を補強するための考え方を学びます。</p>
経営学研究 A	<p>激しい企業環境の変化の中で企業を存続させ、成長させていくためには企業戦略が不可欠である。この講義では基礎的な経営学の知識を踏まえ、特に事業戦略に焦点を当てていく。</p> <p>テキストの輪読やディスカッションを通じて、現代社会における具体的な現象を経営学的視点から捉える力を養う。戦略の理論については必要に応じて講義の中で取り上げていきたい。</p> <p>授業は基本的に輪読を進める。</p>

◇大学院 経済情報研究科 主要科目の特長

科目	特長
経営学研究 B	<p>多くの企業にとって経営のグローバル化は避けて通れない流れである。現代社会における企業経営を理解するために、この講義では国際経営を中心的課題として扱う。</p> <p>内容としては、経営管理論と組織論を基礎に置きながら多国籍企業(グローバル企業)に関する議論の流れを理解し、国際経営戦略およびマネジメントの基本的理解を深める。</p> <p>授業は基本的に輪読を進める。</p>
地域政策研究 A	<p>人口減少・少子高齢化社会を迎え、地域をめぐる地域政策に注目が集まっている。この講義では、従来の地域政策の主体である地方自治体などの行政に加え、地域の経済やビジネス、生活を担っている企業、NPO、地域コミュニティも視野に入れた多様な視点からの考察を行う。人口減少・少子高齢化をはじめ地域が抱えている課題を把握、分析し、評価した上で、有効な地域政策を提示できることを本講義の目的とする。</p>
地域政策研究 B	<p>この講義では、従来の地域政策の主体である地方自治体などの行政に加え、地域の経済やビジネス、生活を担っている企業、NPO、地域コミュニティも視野に入れた多様な視点からの地域活性化政策の考察を行う。とりわけ、観光振興による地域活性化政策について多くの事例を取り上げ分析する。人口減少・少子高齢化をはじめ地域が抱えている課題を把握、分析し、評価した上で、有効な地域活性化政策を提示できることを本講義の目的とする。</p>
特別研究(論文指導)	<p>研究目的に沿った修士論文の作成</p>